

小学生向け学習教材「はたらくロボットのひみつ」に協賛

創立100周年事業の一環として、株式会社学研パブリッシング(以下、学研)出版企画の小学生向け学習教材「まんがでよくわかるシリーズ」の企画・制作による「はたらくロボットのひみつ」を刊行し、学研を通じて全国約22,000の小学校および3,200の公立図書館に寄贈しました。

「まんがでよくわかるシリーズ」は小学生向けに様々なテーマをわかりやすく紹介する学研の学習教材シリーズで、「公益社団法人日本

PTA全国協議会」からの推薦図書として20年以上にわたり子どもたちに親しまれています。当社はこの発刊の趣旨に賛同し、当社の主力製品の1つである産業用ロボットを通して子どもたちにもものづくりへの興味を抱いてもらい未来への可能性を広げていてもらいたいと考え、協賛しました。

非売品のため書店での購入はできませんが、電子版は学研「キッズネット」または学研電子書籍ストア「ブックビヨンド」からご覧いただけます。



● お問い合わせ先：人事総務部 TEL: 093-645-8801 FAX: 093-645-8831



選手詳細情報は陸上部ホームページ「草魂」で公開中! <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>

春のトラックレースの結果を受けて、夏の大会はトラックを中心とする選手と、ロードを中心とする選手とに別れてのレース出場となりました。

北海道の4ヶ所を会場として転戦するホクレンディスタンスチャレンジの士別大会と深川大会の2つのトラックレースに、春先の大会で比較的好調だった選手が出場しました。

士別大会の5000mでは、2番目に速いB組に新人19歳の古賀淳紫選手がシニア選手に混ざって積極的にレースを進めました。結果は12位でしたがこれからを期待させるレース内容でした。最も速いA組には、ヒルサワト・マミヨ・ヌグセ選手、サディク・フィカドゥ・ハフツ選手、中本健太郎選手、黒木文太選手、久保田大貴選手が出場。中でもマミヨ選手が、2位以下の選手を3秒以上離す好走を見せてくれました。

続く深川大会でも6名の選手が出場しました。2番目に速いB組では、久保田、中本、黒木選手が出場。最も速いA組には、マミヨ、北島寿典、フィカドゥ選手が出場。このレースでも、再びマミヨ選手が1位となる好走を見せてくれました。これでマミヨ選手は6月からの3レースで負けなしの3連勝。駅伝シーズンに向け、大きな期待を寄せることができます。

一方で、スピードよりも長い距離を得意とする平山竜成、野本大喜選手は、ロードを中心に大会出場しました。7月のサフォークランド士別ハーフマラソン大会では、8月下旬の

北海道マラソンの調整を兼ねて出場し、平山選手は15位。野本選手は53位となりました。

目標とする北海道マラソンでは、野本選手が初マラソンで18位、平山選手が39位となりました。

夏のレースが終わり、チームは駅伝に向けて調整をしていきます。また、この冬のシーズンは来年のリオデジャネイロオリンピックのマラソン代表選考会も開催されます。これらに向けて取組んでいきますので、応援宜しくお願いします。



トラックレースに出場した選手たち(写真は6月のナイター記録会から)

◆ 2015年7月～9月の主な戦績

日程	大会名	成績
7月 5日	ホクレンディスタンスチャレンジ士別大会 5000m	B組：古賀選手12位 A組：マミヨ選手1位、フィカドゥ選手12位、中本選手18位、黒木選手21位、久保田選手22位
7月 9日	ホクレンディスタンスチャレンジ深川大会 10000m	B組：久保田選手16位、中本選手20位、黒木選手22位 A組：マミヨ選手1位(自己新記録)、北島選手13位、フィカドゥ選手21位
7月26日	サフォークランド士別ハーフマラソン大会	平山選手15位、野本選手53位
8月30日	北海道マラソン	野本選手18位、平山選手39位